

U04b 牛かい座空洞領域における青い銀河の検出

田辺健茲 (岡山理科大)、川端善仁 (鴨方高校)、前原英夫 (国立天文台岡山)、山田亨 (国立天文台)、R.Stobie (南ア・ケープ天文台)

我々は、著者の一人 (前原) が木曾の Schmidt カメラで撮影した牛かい座 (Bootes) のいわゆる空洞 (Void) 領域のほぼ中央付近 (α, δ) = (14 h 38 m, +48°38') の、広がりが $6^\circ \times 6^\circ$ をもつ B, V, R バンドのプレートを国立 Edinburgh 天文台の読取装置 COSMOS を用いて digitize したものを解析した。その結果、この領域に 239 個の銀河が検出されそのうち 173 個は新しく見つかったものである。この銀河のカタログ (限界等級は B で約 17.9 等) を用いて B, および V 等級における銀河の計数を調べたところ、B と V には明瞭な違いが現れた。すなわち、V では 15 等付近で傾きが 0.6 より緩やかになるのに対し、B ではむしろ勾配が急になっている。このことは、Bootes 領域には青い銀河が多く存在していることの証拠と考えられる。実際、この領域の銀河の色指数 B-V の値が小さいものが多い。なお、比較領域 (中心が (α, δ) = (13 h 20 m, +48°38') のプレート) の解析の結果についても言及する予定である。